



東京消防庁における安全への取組について

- 東京消防庁 安全推進部
- 2023年9月22日（金）

東京消防廳增進安全的作為

- 東京消防廳 安全推進部
- 2023年9月22日（五）



目次

- 1 東京消防庁について
- 2 安全推進部創設の経緯と当庁の課題
- 3 安全推進部の取組
- 4 安全の更なる高みを目指して



目次

- 1 東京消防廳簡介
- 2 創立安全推進部的背景和本廳的課題
- 3 安全推進部的作為
- 4 目標為更高規格的安全



目次

- 1 東京消防庁について
- 2 安全推進部創設の経緯と当庁の課題
- 3 安全推進部の取組
- 4 安全の更なる高みを目指して



目次

- 1 東京消防廳簡介
- 2 創立安全推進部的背景和本廳的課題
- 3 安全推進部的作為
- 4 目標為更高規格的安全



東京消防庁の管轄地域

2 3区 2 5市 3町 1村
(計 5 2区 市町村)



東京消防庁の管轄区域



都市部



山間部



沿岸部



東京消防廳的轄區

2 3区 2 5市 3町 1村
(計 5 2区 市町村)



東京消防庁の管轄区域



都會區



山林區



海岸區



東京消防庁の組織規模

	東京都	台湾
面積	2,100 km ² (台湾の約 1 / 17)	36,190 km ²
人口	1403 万人 (2023年 1月現在)	2323 万人 (2022年11月現在)
人口密度	6,168 人 / km ² (台湾の約 10 倍)	639 人 / km ²
予算	7兆801億円 東京都：2022年 財政規模（一般会計）	2.68兆大湾元 (およそ11.5兆日本円) 立法院：2023年 中央政府総予算案

※東京消防庁の予算：2534億2200万円
(東京消防庁 / 東京都 = 3.2%)

消防職員合計	18,655人
消防官	18,233人
一般職員	422人
消防車両等	2,009台 ※消防艇、消防ヘリコプターを含む



9



東京消防廳的規模

	東京都	台湾
面積	2,100 km ² (約台湾的 1 / 17)	36,190 km ²
人口	1,403 萬人 (2023年 1月統計)	2,323 萬人 (2022年11月統計)
人口密度	6,168 人 / km ² (約台湾的 10 倍)	639 人 / km ²
預算	7兆801億日圓 東京都：2022年 財政規模（一般会計）	2.68兆台幣 (約11.5兆日本円) 立法院：2023年 中央政府總預算

※東京消防廳的預算：2,534億2,200萬日圓
(東京消防廳 / 東京都 = 3.2%)

消防職員合計	18,655人
消防官	18,233人
一般職員	422人
消防車輛等	2,009台 ※含消防船、消防直升機



10



目次

- 1 東京消防庁について
- 2 安全推進部創設の経緯と当庁の課題**
- 3 安全推進部の取組
- 4 安全の更なる高みを目指して



目次

- 1 東京消防廳簡介
- 2 創立安全推進部的背景和本廳的課題**
- 3 安全推進部的作為
- 4 目標為更高的安全



安全推進部創設の経緯

2019年 1月	火災による殉職事故が発生
2019年10月	航空救助活動中に一般人を死亡させる事故が発生
2020年 2月	航空安全委員会において、委員から当庁の課題について指摘を受ける。
2021年 4月	当庁のトップにより「安全管理」を柱とする方針が示される。
2021年10月	安全推進体制を強化するため、検討チームを立ち上げる。
2022年 4月	安全推進部創設

13



創立安全推進部的背景

2019年 1月	火災抢救時発生消防隊員殉職事故
2019年10月	航空救助勤務中發生讓民眾死亡的事故
2020年 2月	航空安全委員會議中，委員指出本廳的問題應改善。
2021年 4月	本廳的長官下達方針指令，以「安全管理」為最重要核心。
2021年10月	為加強安全推動體制，組成檢討小組。
2022年 4月	創立安全推進部

14



当庁の課題

安全最優先の
実践不足

安全確保に向けた
連携の不足

ヒューマンファクター
の理解不足

報告しにくい風土

上意下達
受動的な姿勢

過信・慢心



本廳的課題

安全最優先
未能落實

確保安全的
合作有欠缺

人為因素
的理解不夠

不利於報告的文化

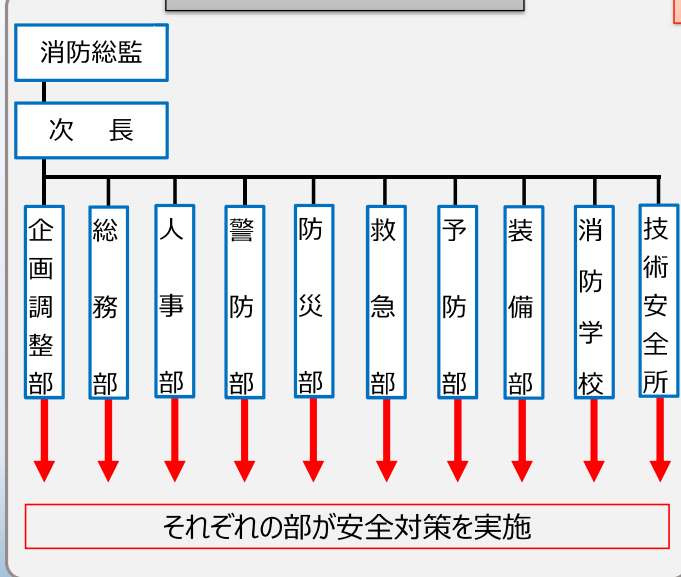
上意下達
被動的態度

太有自信、輕忽

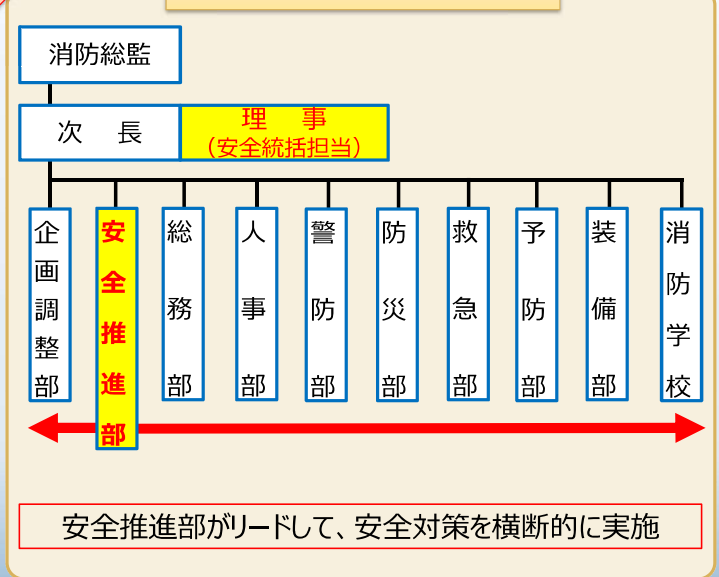


安全推進体制の強化

これまでの体制

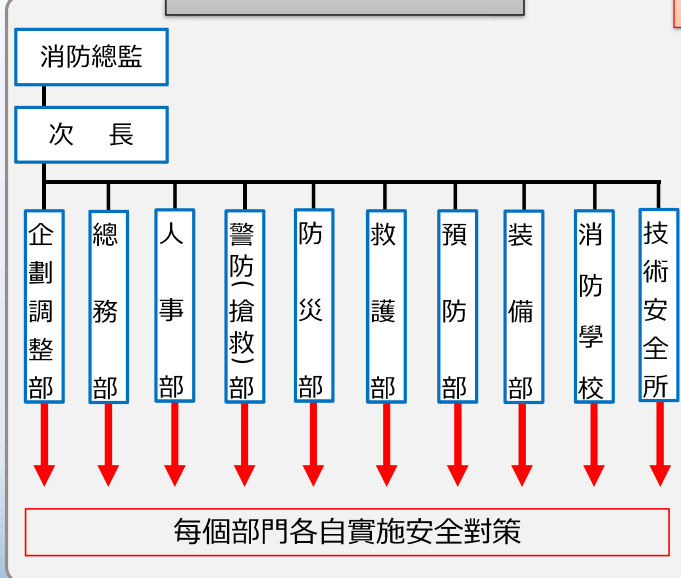


新たな体制

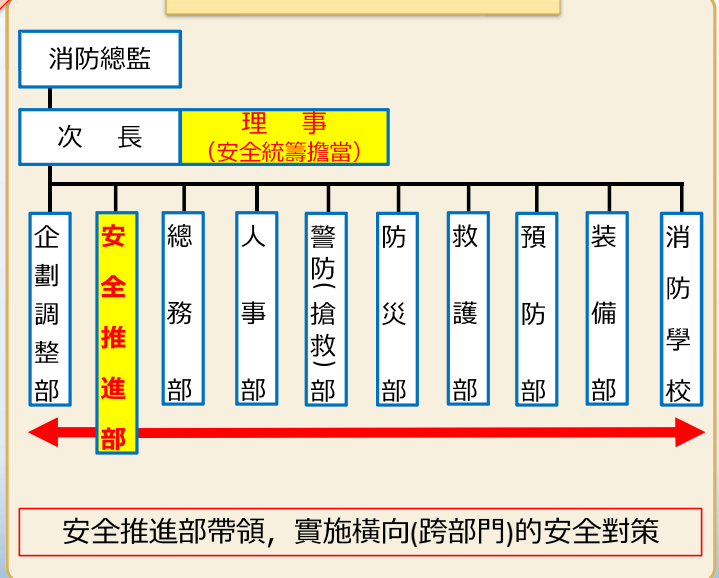


加強安全推動體制

過去の體制



新的體制





安全文化の醸成に必要な4つの要素

安全文化とは、組織の構成員が安全の重要性を認識し、ヒューマンエラーや不安全な行動に対して鋭い感受性を持ち、事故予防に対する前向きな姿勢と有効な仕組みを持つこと。

必要な4つの要素

公正な文化

報告する文化

学習する文化

柔軟な文化

安全文化

引用元：James Reason（1999）組織事故

19



養成安全文化必要的4個要素

何謂**安全文化**? 組織(消防廳)所有人員對安全的重要性均有認知，養成對人為失誤或不安全行動立即靈敏察覺，對預防事故發生採積極的態度及有效率的架構。

必要的4個要素

公正的文化

報告的文化

學習的文化

柔軟的文化

安全文化

引用自：James Reason（1999）組織事故

20



目次

- 1 東京消防庁について
- 2 安全推進部創設の経緯と当庁の課題
- 3 安全推進部の取組**
- 4 安全の更なる高みを目指して



目次

- 1 東京消防廳簡介
- 2 創立安全推進部的背景和本廳的課題
- 3 安全推進部的作為**
- 4 目標為更高規格的安全



東京消防庁安全憲章策定の経緯とその目的

	ANAグループ 安全理念	JALグループ 安全憲章	JR西日本 安全憲章	東京消防庁 安全憲章
教訓となる 事故	 全日空機衝突事故(1971)	 御巣鷹山墜落事故(1985)	 福知山線脱線事故(2005)	 八王子殉職事故(2019) 航空救助事故(2019)
策定の効果	「社員一人ひとりの行動の 拠り所になっています。」 引用:ANAグループHP「安全理念」より	「安全が命を守ることと定 義されたことで、判断軸が はっきりした。」 引用:JALヒアリングより	「社員全員の決意を表すと ともに、世の中の皆様に対 する宣言でもあります。」 引用:JR西日本HP「安全憲章」より	【策定の目的】 1. 重大事故を風化させず、 社会と組織に対して、二度 と起こさないという宣言 2. 一人一人の行動の判断軸と なる拠り所をつくること。
目的	それぞれの事故を風化させず、同じ失敗を繰り返さないという ことを社会と組織に宣言するために安全理念、安全憲章を策定 し、社員の行動の判断軸となっている。			
安全憲章 = 社会と組織への宣言 + 職員一人一人の 行動の拠り所・判断軸				



東京消防廳制定安全憲章的背景和目的

	ANA集團の 安全理念	JAL集團の 安全憲章	JR西日本 安全憲章	東京消防廳 安全憲章
記取教訓的 重大事故	 全日空飛機衝撞事故(1971)	 御巣鷹山墜機事故(1985)	 福知山線電車脫軌事故(2005)	 八王子殉職事故(2019) 空中救助事故(2019)
制定後 的效果	「每個隊員採取行動時有依 據。」 引用:擷取自ANA官網HP「安全理念」	「將安全定義為守護生命,需 要決策時的重要核心更明 確。」 引用:擷取自JAL聽取	「代表全體員工的決心,也是 向全世界宣布決心。」 引用:擷取自JR西日本官網「安全憲章」	【制定的目的】 1. 莫讓重大事故風化被淡忘, 向社會和企業宣示,不會重 蹈覆轍。 2. 讓每個人採取行動時,有判 斷的依據準軸。
目的	不要讓事件隨著時間風化被淡忘,不要重蹈覆轍, 制定安全理念、安全憲章,向社會和公司宣示, 作為人員採取行動時判斷的軸心概念。			
安全憲章 = 向社會和企業宣示 + 每個職員採取行動時的 依據、判斷的軸心				



東京消防庁安全憲章の概念図

構成1 スローガン

安全統括会議で検討

構成2 決意

全職員から公募

構成3 具体的行動

全職員から公募



《《 全ての人命を守り抜く 》》

【リスクの低減】

【リスクの排除】

組織力

【リスクの回避】

装備

災害対応

救急業務

人事管理

あらゆる消防業務

予防

広報活動

火災調査

査察業務

職員一人一人の行動



東京消防廳安全憲章的概念圖

構成1 Slogan口號

安全統括會議中議定

構成2 決心

向全員工徵選

構成3 具體的行動

向全員工徵選



《《 貫徹保護所有的人命 》》

【降低風險】

【排除風險】

組織力

【迴避風險】

裝備

災害對應

救護業務

人事管理

所有的消防業務

預防

公關宣傳

火災調查

督察業務

每個職員的行動



東京消防庁安全憲章の全文

構成 1 スローガン

安全統括会議で検討

構成 2 決意

全職員から公募

構成 3 具体的行動

全職員から公募

東京消防庁安全憲章

我々の目指す安全は、全ての人命を守り抜くことである。

だからこそ自らと仲間を大切に、それぞれが持てる力を発揮できるよう互いの階級や職責を超えて一致協力し、いかなるリスクにも対処できる組織となります。そして、一人一人の小さな一歩の積み重ねが生む確かな組織力をもって全ての業務を確実に遂行し、安全な東京の未来を築きます。

そのために、一人一人が次のことを行います。

- ・ ルールが出来た意味を考え、行動します。
- ・ 互いに聴く耳を持ち、気づいたことは伝えます。
- ・ 進む勇気だけでなく、立ち止まる勇気を持ちます。
- ・ 誰にでもミスは起こり得る事を認識し、助け合います。
- ・ 気づきから学び、自らの成長と手順の改善を目指します。



東京消防廳安全憲章全文

構成 1 口號 Slogon

安全統括會議中議定

構成 2 決心

向全員工徵求

構成 3 具體的行動

向全員工徵求

東京消防廳安全憲章

我們設定的「安全」目標，是貫徹保護所有的人命。

所以更要重視自己和夥伴，各自發揮自己的力量，超越彼此的階級或職責，同心協力，組成能夠對抗任何風險的團隊組織。然後，累積每個人的一小步，成就堅實的組織力，落實執行所有的業務，建構東京安全的未來。

因此，每個人都要做到以下的事情。

- ・ 思考當初訂下規定的立意，再採取行動。
- ・ 互相傾聽彼此的意見，留意到的事情，互相提醒。
- ・ 不只要有前進的勇氣，也要有停下來的勇氣。
- ・ 每個人都有可能犯錯，互相幫助。
- ・ 從發現中學習，目標是讓自己成長和精進。



東京消防庁安全憲章に盛り込んだ5つのポイント

2

現場活動だけでなく、あらゆる業務の遂行が安全を築く



組織力の
発揮

東京消防庁 安全憲章



現場力の
発揮

1 スローガンは、“全ての人命を守り抜く”

目指す安全
(スローガン)



3 想定外のリスクにも対処できる
創造型組織を目指す



4

心理的安全性のある職場が、
組織力と現場力を発揮させる



心理的
安全性

一人一人の
5つの行動

5

一人一人の小さな行動の積み
重ねが安全な未来へ繋がる



東京消防廳安全憲章的5個重點

2

不論勤務現場，或執行任何業務
都要在安全架構下



發揮
組織的力量

東京消防廳 的安全憲章



發揮現場的
應對能力

1 口號：“貫徹保護所有的人命”

以安全為
目標 (口號)



3 意料外的風險也要能因應處理
目標為建立創造型組織



4

精神層面有安全感的職場，
可充分發揮組織力和現場力



精神的
安全性

每個人的
5個行動

5

累積每個人安全行動的一小步
創造安全的未來





安全推進部の取組

【安全技術課】研究・開発を通じた安全への貢献

研究関係

消防活動での安全対策に係る研究



防火防災に係る研究



分析・鑑定関係

事故原因分析



化学的な分析測定



火災鑑定



安全推進部の作為

【安全技術課】透過研究、開發為提高安全貢獻力量

研究

消防勤務安全對策相關的研究



防火防災相關的研究



分析、鑑定

事故原因分析



化學的分析檢測



火災鑑定





目次

- 1 東京消防庁について
- 2 安全推進部創設の経緯と当庁の課題
- 3 安全推進部の取組
- 4 **安全の更なる高みを目指して**

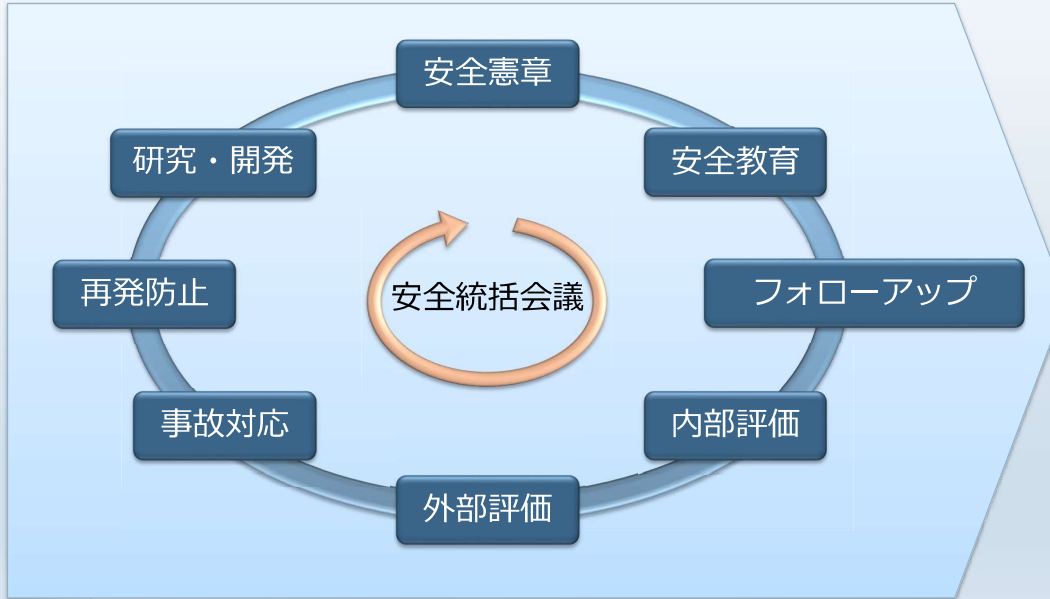


目次

- 1 東京消防廳簡介
- 2 創設安全推進部的背景和本廳的課題
- 3 安全推進部的作為
- 4 **目標為更高規格的安全**



4 安全の更なる高みを目指して



質の高い 消防行政サービスの 追求

- 安全文化の醸成
- 心理的安全性
- 重大事故の根絶
- 都民の安全安心



4 目標為更高標準的安全



追求高品質的 消防行政服務

- 醞釀安全的文化
- 精神上的安全性
- 杜絕重大事故
- 都民的安全安心

ご清聴ありがとうございました。



謝謝聆聽

